

## 第5章 環境数理学科における安全

### 5. 1 一般的心得

環境数理学科における教育・研究では、実験を行わないので、重大な事故が起こる可能性は他学科に比べ低いはずである。しかし、安全性に対する認識不足や油断のために不慮の事故が起こる可能性は十分あるので、日頃からの心掛けが大切である。また、研究室やデータベース資料室には大量の書籍および研究資料が保管されているので、特に火災と地震には注意すべきである。

### 5. 2 コンピュータ機器の使用

計算機実習室および各講座の演習室・実習室にはコンピュータとその周辺機器が配備されている。これらの使用方法については、クラスアドバイザー・授業担当の教員および各講座の教員が必要に応じて説明するので、必ず指示に従うこと。

### 5. 3 その他

火災・地震・事故等の緊急事態への対応については、この安全の手引の第1章から第3章までに記載されている。いざという時のために、該当箇所には必ず目を通すこと。

